

製品名: PPAR ガンマウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86915**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:58 kDa; Observed MW:58 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPAR gamma
別名	GLM1; CIMT1; NR1C3; PPARG1; PPARG2; PPARgamma
遺伝子 ID	5468
SwissProt ID	P37231
免疫原	ヒト PPAR ガンマの合成ペプチド

背景

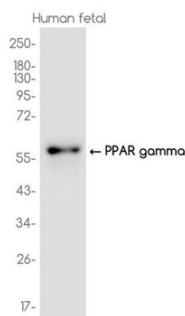
この遺伝子は、核内受容体のペルオキシソーム増殖因子活性化受容体（PPAR）サブファミリーのメンバーをコードしています

す。PPARはレチノイドX受容体(RXR)とヘテロ二量体を形成し、これらのヘテロ二量体は様々な遺伝子の転写を制御します。PPARには、PPAR- α 、PPAR- δ 、PPAR- γ の3つのサブタイプが知られています。この遺伝子によってコードされるタンパク質はPPAR- γ であり、脂肪細胞分化の調節因子です。さらに、PPAR- γ は、肥満、糖尿病、動脈硬化、がんなど、多くの疾患の病態に関与していることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq提供、2008年7月]

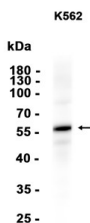
研究分野

-

画像データ



PPAR ガンマウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。



AMRe86915 を 1:1000 で使用して K562 細胞抽出物をウェスタン ブロット分析しました。